

医院環境が患者心理に与える影響

旭川歯科学院専門学校 61 回生 3 班

○但 木 詩 音 榎 本 ゆ ら 佐 々 木 結 衣
日向 雪 姫 三 浦 陽 向

【目的】

多くの患者は歯科医院に対して「痛い」「怖い」などの不安を抱えている人が多いと感じたため、院内の雰囲気や音、匂い、照明、スタッフの対応など歯科医院における環境が患者心理にどのような影響を与えるか興味があり、治療への安心感や通院のしやすさにも関係するのではないかと考え、このテーマを選んだ。患者の不安や恐怖を極力取り除き安心して通院できる歯科医院づくりを支えることの出来る歯科衛生士を目指したい。安心感と医療効率の両立を測った環境づくり、患者の通院モチベーションを向上させることを

目的とした。

【対象と方法】

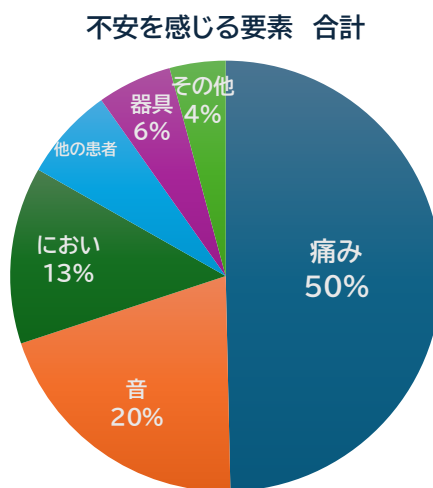
インターネットを用いた情報収集、旭川歯科学院専門学校の1～3学年の生徒（1学年21名、2学年35名、3学年24名）、教職員（11名）計91名を対象としたアンケート実施（令和8年4月17日～4月28日）

【結果】

① 診療中不安に感じることは何か

1. 診療中に不安を感じる要素

順位	1年生	2年生	3年生	教職員
1	音	痛み	痛み	痛み
2	痛み	音	音	音
3	患者の存在	におい	におい	におい
4	におい	患者の存在	その他	患者の存在
5	器具が見える	器具が見える	器具が見える	器具が見える
6	その他	その他	患者の存在	その他



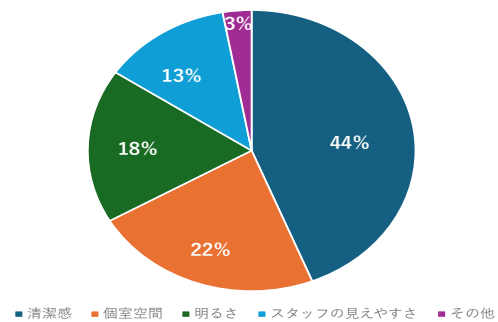
全体的にどの学年、教職員ともに音、痛みに対して不安を感じる傾向があることがわかった。

② 診療室で安心できる要素は何か

2.診療室で安心できる要素

順位	1年生	2年生	3年生	教職員
1	清潔感	清潔感	清潔感	清潔感
2	明るさ	個室	個室	個室
3	スタッフ	明るさ	明るさ	その他
4	個室	スタッフ	スタッフ	明るさ
5			その他	スタッフ

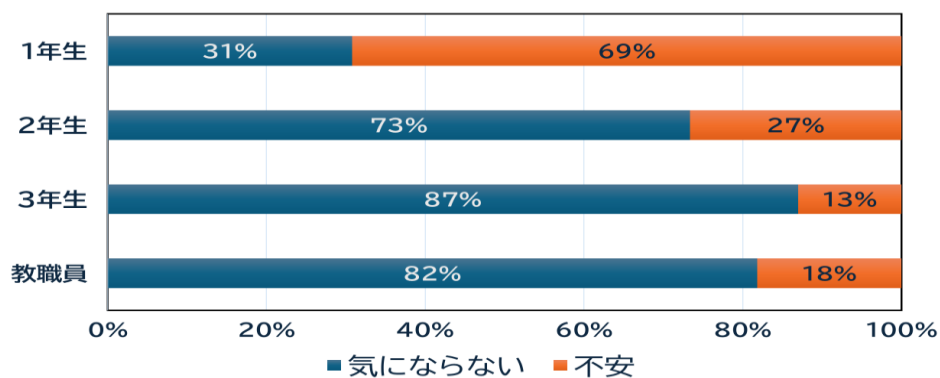
診療室で安心できる要素 合計



③ 器具が見えることについてどう思うか

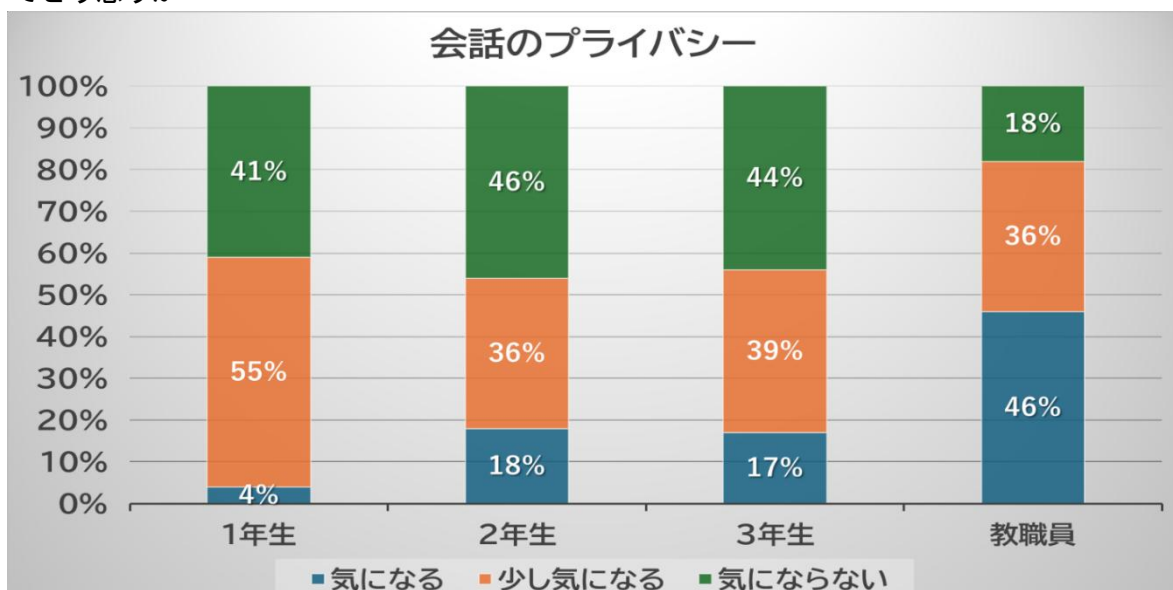
3.器具が見えることについてどう感じるか

器具の露出

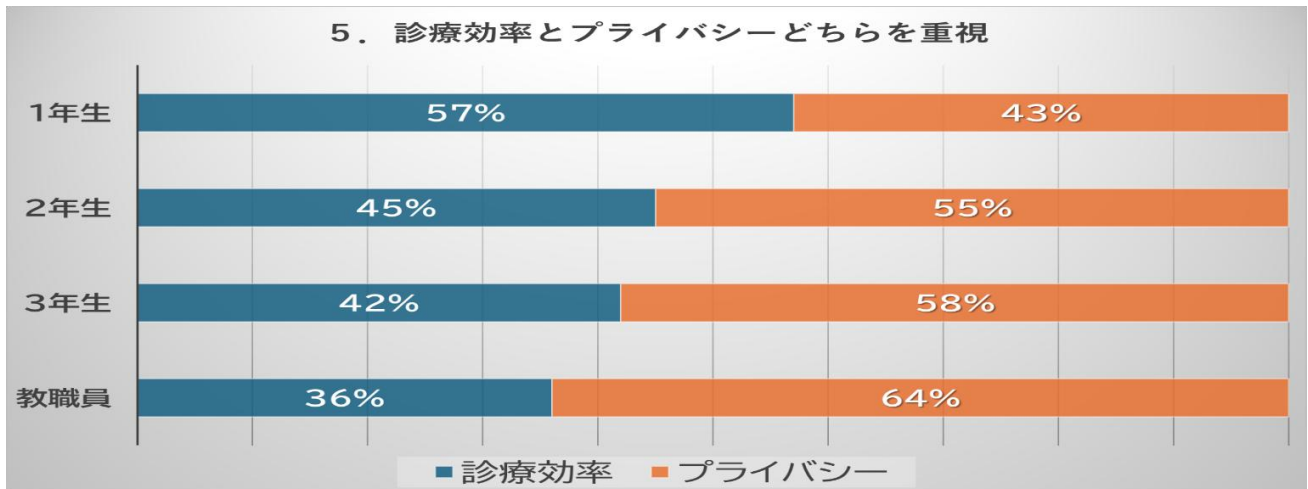


④ 診療中の会話を他の患者に聞かれる可能性についてどう思うか

会話のプライバシー



⑤ 治療の効率とプライバシー保護どちらを重視するか

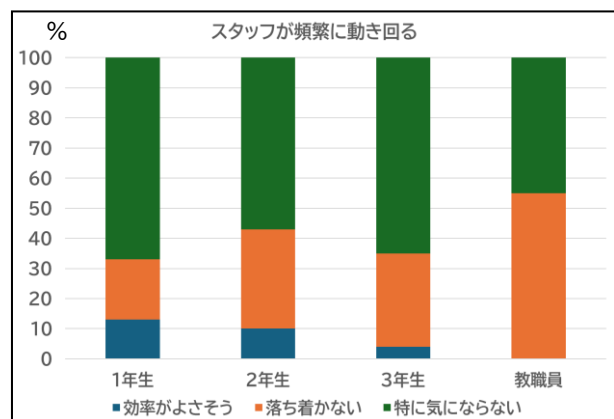


⑥ スタッフが頻繁に歩き回ることにどう思うか

6. 診療中のスタッフの動き

スタッフが頻繁に動き回ることにについて

%	1年生	2年生	3年生	教職員
効率がよさそう	13	10	4	0
落ち着かない	20	33	31	55
特に気にならない	67	57	65	45

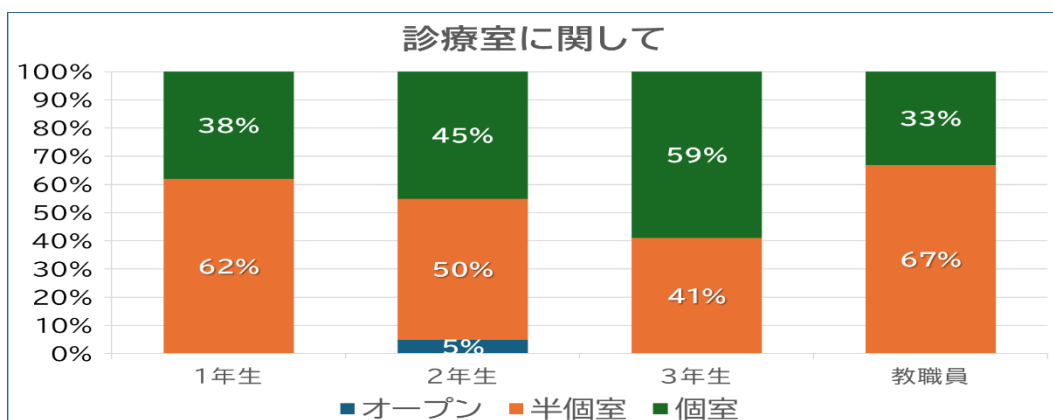


「動きが多いこと＝効率が良い」と評価する人はほとんどおらず(最高13%、教職員は0%)、高学年や教職員ほど「落ち着かない」とネガティブに捉える割合が増える

アンケート結果を踏まえた実務につながる改善案

1. 診療準備・器具配置の最適化
2. 移動時の歩行・動作マナー向上
3. 診療室の動線設計の見直し

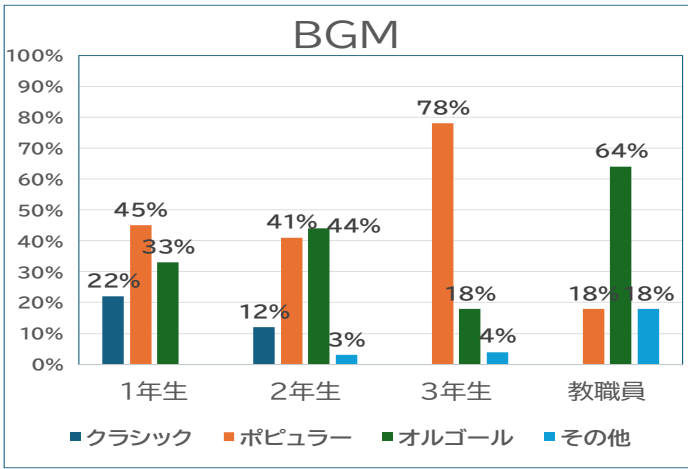
⑦ 診療室はどのタイプが良いか



⑧ 院内で流れる BGM はどのようなものが良いか

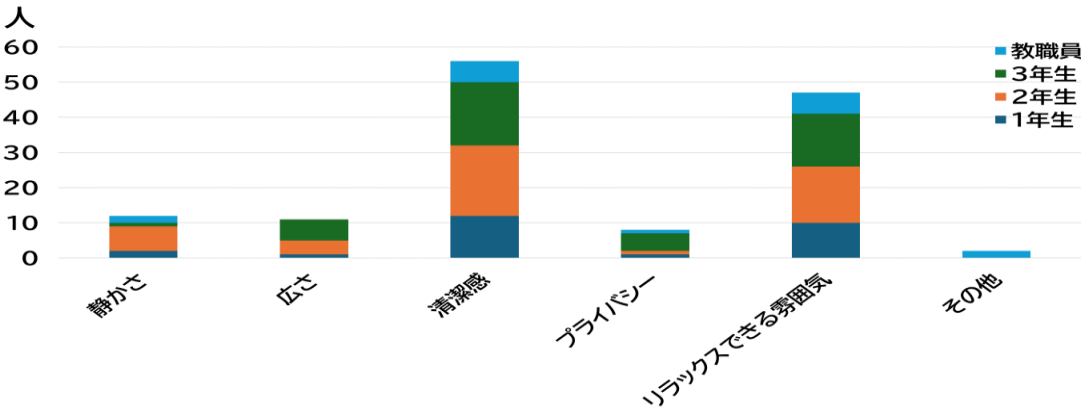
8. 院内で流れるBGMはどのようなものが良いですか

順位	1年生	2年生	3年生	教職員
1	ポピュラー	オルゴール	ポピュラー	オルゴール
2	オルゴール	ポピュラー	オルゴール	クラシック
3	クラシック	クラシック	その他	その他
4		その他	クラシック	ポピュラー



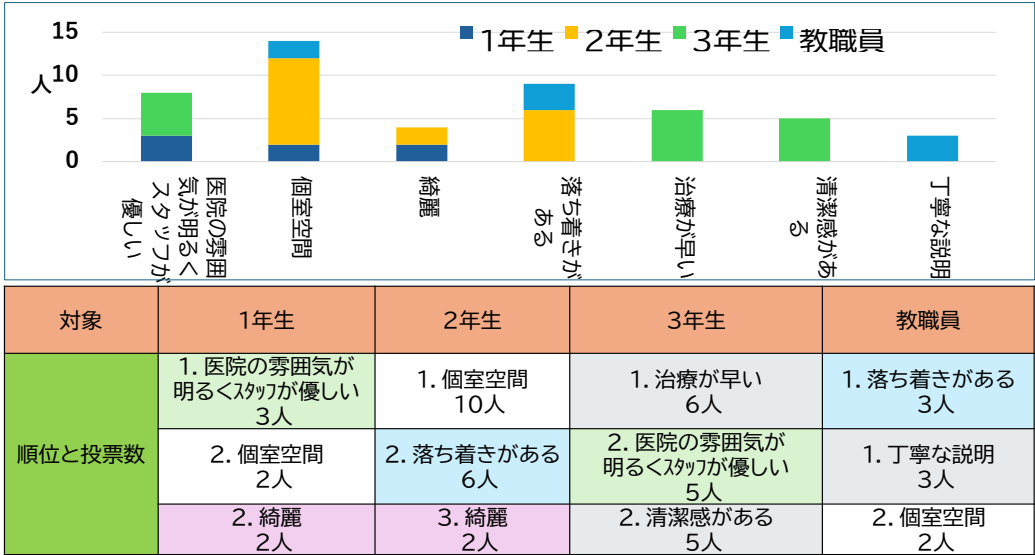
⑨ 待合室で重視するもの

9. 待合室で重視すること(複数選択)



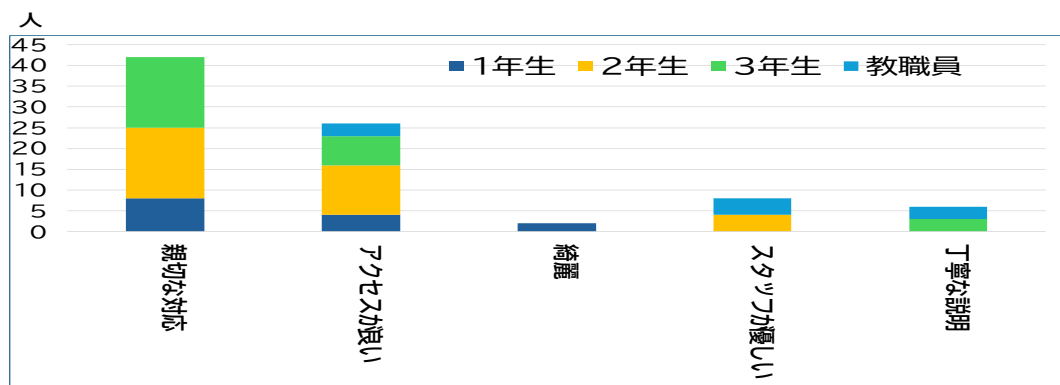
⑩ 理想の歯科医院とはどのような環境か

10. 理想の歯科医院とはどんな環境か



⑪ 歯科医院に求める要素は何か

11. 歯科医院に求める要素は何か



【考察】

今回のアンケート結果から、歯科医院では治療内容だけではなく、院内環境やスタッフの対応が患者の心理に大きく影響していることがわかった。不安を感じる要素として、痛みや器具が見えること、においが多く挙げられたところから治療への恐怖だけでなく視覚や嗅覚から受ける刺激も患者の不安につながると考えられた。

一方で安心できる要素として、清潔感やスタッフの笑顔・対応が多くあげられていた。また、院内BGMも落ち着いた雰囲気を目指す回答も多く、患者が求めていることは技術だけではないことが分かった。優しい声かけや分かりやすい説明を望む声も多かったため、このことから、患者とのコミュニケーションも不安の軽減に重要な役割を果たしていることが分かった。

【まとめ】

今回の総合学習では「医院環境が患者に与える影響」をテーマに学習を進めた。多くの患者は歯科医院に対して「痛い」「怖い」といった不安を抱えていることから院内環境が患者の安心感や通院のしやすさにどのような影響を与えるのかについてアンケート調査やインターネットから文献等の情報収集を行い考察した。

調査の結果、歯科治療に対する恐怖心は痛みなどの身体的侵襲だけでなく歯科治療器具が視界に入ることによる視覚的な恐怖や、タービンなどの切削音による聴覚的な刺激によっても強く引き起こされることが分かった。一方で患者が安心感を抱く要素としては、院内の清潔感や

明るい雰囲気、スタッフによる丁寧で優しい対応や適切な声掛けが多く挙げられた。このことから、院内感染対策のために行っていることを患者にも伝わりやすい形で掲示し、患者の不安に寄り添う傾聴の意識を持つことの大切さがわかった。

恐怖心や不安の要因を取り除く医院環境整備を通して、患者自身が口腔衛生状態に関心を持つことが出来れば、通院モチベーションを向上させることが出来、歯周病やう蝕罹患率の減少につながると考える。患者の感じる不快要素は何かを知り、取り除くことが患者の通院モチベーションを向上させ、歯科治療や、歯科検診に積極的になってもらう最初のステップだと思うため、患者が安心して通院できる環境づくりに貢献出来るよう、臨床実習では広い視野を持ち、歯科衛生士として臨床に出た際には、今回の学びを活かしていきたい。

【引用】

日本口腔保健学雑誌 歯科衛生士学生の歯科に対する意識調査

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jnohs/9/1/9_63/article/-char/ja/ 2026年5月8日

日本歯科心身医学会雑誌 音楽効果による歯科治療時の交感神経機能の抑制について

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsd1986/12/2/12_2_169/article/-char/ja/ 2026年7月24日